

ぽっかぽか



R6. 11. 28

園長だより NO.4

富士市立天間幼稚園



11月は、たくさんの行事がありました。楽しい思い出がいっぱいできました。

1日 秋まつり(PTAバザー)

PTA役員さんを中心に準備を進めてくださった催し物。おもちゃの持ちよりなど、お家の人から早くから準備をしている事を子どもたちも知っているため、当日への期待もとても大きく、楽しみにしていました。どの子にも優しく声をかけ、迎え入れてくれる雰囲気、とても温かなお祭りでした。



ピンゴゲーム
ボール入るかな？



買い物
どれにしようかな



ヨーヨーすくい



ひもくじ

年長児ははっぴや浴衣を着せてもらい、他の学年の時には、役員さん、ボランティアさんと一緒にお店のお手伝いをしてくれました。



15日 天間地区七五三奉納相撲大会

直前まで雨模様で、開催が心配されましたが、地域の皆様のご協力もあり、無事に行うことができました。当日は、大勢のお客様の前で、自分の力を出すことができ、勝った子も負けた子も、幼稚園に戻る頃には、皆清々しい顔をしていました。応援ありがとうございました。天間地区の3園での取組は、この日だけですが、園内では、この日までに毎日のように相撲遊びをしていました。

当日のちょっと緊張した
面持ちの安全祈願の様子



遊びはじめの頃



戸外では、土俵が実際の大きさになり、お互いが一歩も引かないので、勝負がなかなかつかないこともありました。力の入れ方や、受け身の取り方など、繰り返し遊ぶことで少しずつ上手になっていきました。

安全を考慮して、最初はマットの上で取り組みます。土俵も小さいので、勝敗も早くつきます。

土俵の上では、礼や挨拶をしっかりすること、相手の顔をよく見合うこと、など、礼儀についても学びます。

戸外での取り組み



年中児も真似して、先生
とお相撲対決



年長児に挑む年中児

お守りを作って、お兄さんお姉さ
んに渡しました。



年少児、年中児は、年長児の相撲の様子を毎日見えています。真剣に取り組む様子に憧れを持ち、自分たちもやってみたり、縦割りグループ「ぼっかぼか」の自分のお兄さん、お姉さんに「頑張って」「恰好よかったよ」と声を掛けたりする姿が見られました。この経験が、また、自分たちが大会に出る時のやる気につながっていくのかなと思います。

体幹の弱い子が増えてきている昨今、相撲は、体づくりの上でもよい遊びだと思います。

天間地区の恒例行事がいつまでも続きますように…。

22日 やきいも会



毎年、JA ふじ伊豆天間支店様が、芋を焼くお手伝いをしてくださっています。今年は、保護者ボランティアも募って、やきいも会をしました。お手伝いをさせていただいたり、子どもと一緒に遊んだりしながら過ごし、皆でやきいもを食べました。長年に渡り、畑作りや収穫を手伝ってくださっているジャムおじさん（畑の先生）にもお越しいたき、にぎやかな時間になりました。

新聞紙やアルミホイルでサツマ
イモを巻いて…



おいしいやきいもになあれ！



焼きあがるまでは、保護者ボランティアと一緒に
遊びました。

行事は一時ですが、園生活の中では、日々、繰り返しその経験を遊びに取り入れて過ごします。楽しかったから、知りたい！もっとやりたい！今度はこうしてみよう！とやる気につながっていきます。幼児期のさまざまな体験が、今後の好奇心や、探求心につながっていきます。そして何よりも「人にやさしく」されていること、「地域とつながっている」という気持ちの「根っこ」ができるといいなと願っています。